事業実施提案書　概要（抜粋）

暮らしに溶け込み、愛され続ける “Ｍｙ・Active・Ｈｏｍｅ　鳥取”

市民のスポーツ振興とともに、「日々の生活の一部として多様な活動の場」を提供することで、市民に寄り添い、市民の「豊かな暮らし」と「誇り」を育むための事業として、本事業を位置づけます。

事業取組方針

本施設の特性と市のニーズを適切に理解して本事業の目的を実現していきます。

以上の理解から、当グループは、「市民（My）」の暮らしの一部として気軽に立ち寄れる「生活の場（Home）」、「多様な活動（Active）がかなう場」として「市民に寄り添う事業」とするため、このコンセプトを掲げます。そして、以下の4つの「実施策」を確実に実践することで、本コンセプトを実現します。

実施策①　「地域との絆を重んじ、市民の豊かな暮らしと誇りを育む」スポーツ・生活拠点

- 事業期間に亘り、全ての業務において、地元企業の「藤原組」「こおげ建設」「アーキテック」をはじめとする、地域の人材・知見を最大限活用し、地域との「絆」を重んじ共に歩むことで、日々の生活の一部としてあらゆる市民から利用いただける体育館を実現するとともに、「豊かな暮らし」と「誇り」の醸成、「交流・連帯」の活性化に寄与し、地域の発展に貢献します。

実施策②　「豊かで長閑な風土への調和と気軽な日常利用」を実現する「快適・安全・安心」な施設

- 施設は「機能重視」「シンプル」「コンパクト」を基本とし、体育館実績豊富な「昭和設計」と「安藤ハザマ」が、地元企業と共同し、「ミズノ」および設計会社でもある「合人社」の運営・維持管理ノウハウを計画上流から反映することで「気軽な日常利用の創出」と「LCC低減」を実現します。
- 立地特性を踏まえ、「かさ上げ（ピロティ）」、「スロープ（国道53号線との接続）」、「避難安全検証法の大臣認定取得」等により「災害緊急対応・バリアフリー」に万全を期します。さらに「ピロティの有効活用（多目的広場）」、「多目的室の拡充（サブアリーナ）」、「建物・敷地を一体とした回遊空間（コミュニティループ）の創出」等を行い、「豊かで長閑な風土に調和」した「暮らしに溶け込む施設」とすることで、「する」・「みる」・「ささえる」誰にとっても、「快適」・「安全」・「安心」な施設を実現します。

実施策③　「暮らしに身近な新たなアクティブフィールドを生み出す」未来につなぐ事業

- 「ミズノ」が、日常生活の延長線上でいつでも誰でも気軽に体を動かし、語らいを楽しめる多世代・多志向・健康増進等のプログラムを展開することで、市民スポーツの推進に寄与するとともに「暮らしに身近な多様な活動拠点」を実現します。
- さらに、ピロティ（多目的広場）・サブアリーナ（多目的室）も有効活用した独自イベントによる「新たなアクティブフィールドの創出」と、「地域交流・にぎわい創出」の2つを軸とした自由提案事業を実施するなど、多様な運営サービスを展開することで、あらゆる世代・利用形態のニーズに応え、誰からも、愛され、親しまれ、未来・次世代につないでいく事業とします。

実施策④　「市のニーズ・本市初のPFI事業を確実に具現化」する盤石な体制

- 設計・建設・運営・維持管理が一連一体となって、経験と実績に基づく盤石な実施体制を構築し、市とのコミュニケーションを円滑にして各業務を担うことで、鳥取市初となるPFI事業を確実に遂行し、市民から信頼される事業とします。